

一日米両国の架け橋として貢献— 令和元年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式



令和元年10月25日（金）、三沢基地内の統合クラブにおいて「令和元年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式」が、小檜山吉紀三沢市長等の来賓をはじめ、多数の関係者が参列する中、執り行われました。

この表彰式は、青森県内に所在する在日米軍施設に永きにわたり勤務された駐留軍等労働者の功績をたたえ、あわせて労働意欲等の向上を目的として、防衛省と在日米軍との共催により開催されています。

本年度は、勤続年数10年、20年、30年を迎えた94名の方々が表彰を受けました。

式典では、日米双方の国歌が演奏され、主催者である熊谷昌司東北防衛局長とハモンド米空軍第35戦闘航空団副司令官の式辞に続き、熊谷局長、ハモンド副司令官及びパミル米海軍三沢航空基地隊司令から各軍の受賞者代表に表彰状及び記念品が授与されました。その後、三沢市長から来賓祝辞をいただき、最後に被表彰者の代表者から答辞が述べられ、厳粛な雰囲気の中で、式典は終了いたしました。

式典終了後、被表彰者を囲んで来賓及びお祝いに参列した多くの職場関係者により懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中でひと時を過ごされていました。



式辞を述べる熊谷東北防衛局長



被表彰者代表からの答辞